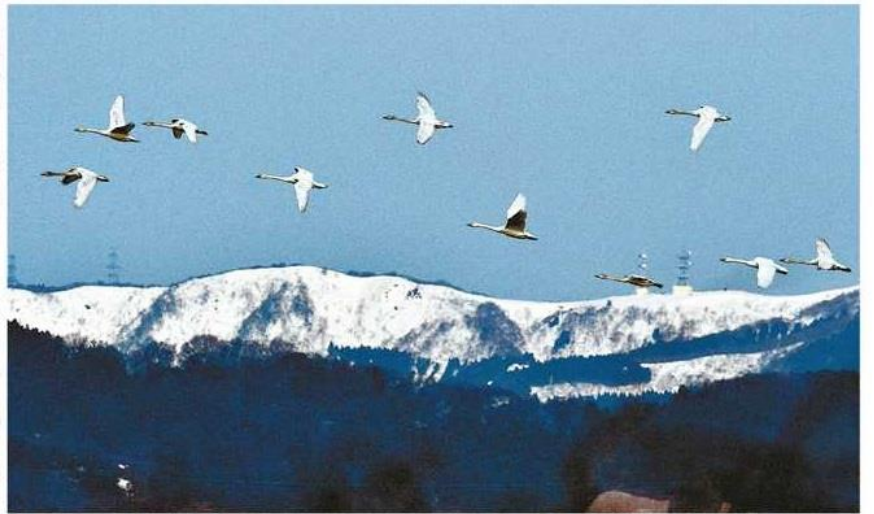


対象	小学校低学年以上
教科	生活科
該当 単元	小学2年 「生きもの なかよし 大作せん」
教科書	東京書籍等
掲載日	2017. 3. 5. 朝刊 12版 34面

滋賀県の琵琶湖周辺で越冬していたコハクチョウが、シベリアに向けて旅立ち始めた。同県長浜市湖北町の湖岸では四日朝、三十羽ほどの群れになって、飛び立つ姿が見られた。

湖北野鳥センターによると、昨年十月に飛来し、今年二月二十三日には県全域で今季最多の五百五十七羽を観測。北へ帰る数は三月に入ってから増え始め、中旬ごろまで見られるという。コハクチョウを十年以上撮り続けているという福井県敦賀市の無職前川孝志さん(76)は「毎年楽しみにしているのに、いなくなるのはやっぱり寂しい。無事に帰って、来年また来いよって心の中で叫んでいます」と話した。

## 北の国へ帰ります 琵琶湖・コハクチョウ



雪山をバックに飛び立つコハクチョウ=4日、滋賀県長浜市で

問1：写真には何羽のコハクチョウが飛んでいますか。( わ羽)

問2：コハクチョウは、どこに向かって飛び立ったのでしょうか。( )

問3：湖北野鳥センターによると、滋賀県全域に飛来してきたコハクチョウは2月23日に最も多くの数を観測したそうです。何羽観測したのでしょうか。( わ羽)

発展：写真を見ると、コハクチョウの羽の位置は大きく三つに分けられますね。

違いを絵に描いてみましょう。